

〔死亡原因の年次推移〕

表 5.8 死亡の場所別にみた都道府県別死亡数百分率

都道府県	総数	施設内				施設外		
		総数	病院	診療所	助産所	総数	自宅	その他
全 国	100.0	57.0	52.1	4.9	0.0	43.0	38.0	5.0
北海道	100.0	73.6	65.0	8.6	0.0	26.4	20.5	5.9
青森	100.0	52.9	49.8	8.2	0.0	42.1	35.3	6.8
岩手	100.0	57.6	50.4	7.2	0.0	42.4	37.3	5.1
宮城	100.0	51.6	42.8	8.8	—	48.4	43.4	5.0
秋田	100.0	52.5	47.7	4.8	0.0	47.5	42.4	5.1
山形	100.0	46.9	42.3	4.6	—	53.1	49.1	4.0
福島	100.0	49.4	44.4	5.1	0.0	50.6	46.5	4.1
茨城	100.0	47.4	43.2	4.2	—	52.6	48.3	4.3
栃木	100.0	47.0	41.3	5.7	—	53.0	47.8	5.1
群馬	100.0	44.5	39.4	5.1	—	55.5	50.6	4.9
埼玉県	100.0	59.0	54.8	4.3	—	41.0	36.6	4.4
千葉県	100.0	53.1	49.2	3.9	0.0	46.9	41.9	4.9
東京都	100.0	70.9	67.9	3.0	0.0	29.1	25.1	4.0
神奈川県	100.0	67.0	63.1	3.9	—	33.0	28.0	5.0
新潟	100.0	45.4	42.4	2.9	—	54.6	50.3	4.3
富山	100.0	53.8	49.9	3.9	—	46.2	42.3	3.9
石川	100.0	55.2	50.9	4.3	—	44.8	40.8	4.0
福井	100.0	47.8	42.8	5.0	—	52.2	46.8	5.4
山梨	100.0	50.5	44.9	5.7	—	49.5	44.3	5.2
長野	100.0	48.2	44.4	3.8	—	51.8	47.3	4.4
岐阜	100.0	47.2	44.7	2.4	—	52.8	48.7	4.2
静岡県	100.0	51.4	46.7	4.7	0.0	48.6	43.4	5.2
愛知県	100.0	57.5	54.1	3.3	—	42.5	38.5	4.0
三重	100.0	48.9	45.9	3.0	—	51.1	46.2	4.8
滋賀	100.0	45.9	44.3	1.6	—	54.1	49.7	4.4
京都	100.0	59.5	58.1	1.4	0.0	40.5	36.3	4.1
大阪	100.0	67.6	65.4	2.2	0.0	32.4	27.9	4.5
兵庫県	100.0	55.6	51.8	3.8	—	44.4	39.5	4.9
岡山	100.0	48.8	45.7	3.1	—	51.2	45.0	6.3
広島	100.0	47.7	43.3	4.4	—	52.3	46.8	5.5
鳥取	100.0	48.3	44.1	4.2	0.0	51.7	47.8	3.8
島根	100.0	45.8	42.5	3.2	0.0	54.2	48.7	5.6
岡山	100.0	51.2	47.5	3.6	—	48.8	43.4	5.5
広島	100.0	54.9	49.7	5.2	—	45.1	39.1	6.0
山口	100.0	58.3	53.1	5.2	0.0	41.7	36.4	5.3
徳島	100.0	52.0	47.9	4.0	—	48.0	43.2	4.8
香川県	100.0	54.0	48.0	6.0	—	46.0	40.8	5.2
愛媛	100.0	52.3	44.1	8.2	—	47.7	42.8	4.9
高松	100.0	64.5	58.0	6.5	—	35.5	30.3	5.1
福岡	100.0	66.0	59.9	6.1	0.0	34.0	28.5	5.5
佐賀	100.0	52.8	40.9	11.9	—	47.2	42.7	4.5
長崎	100.0	57.5	50.4	7.1	—	42.5	36.7	5.8
熊本	100.0	56.7	46.5	10.2	0.0	43.3	39.0	4.3
大宮	100.0	53.0	43.1	9.9	—	47.0	42.6	4.4
宮崎	100.0	53.6	46.0	7.7	—	46.4	40.7	5.7
鹿児島	100.0	46.6	37.1	9.5	0.0	53.4	47.6	5.9
沖縄	100.0	55.1	49.6	5.5	0.0	44.9	38.2	6.8

付表 1 昭和54年以降の乳児の死因順位の選び方

乳児簡単分類番号	死 因
1	細菌性赤痢及びアメーバ症
2,26	胃腸炎
3	結核
4	ジフテリア
5	百日咳
6	破傷風(新生児破傷風を含む)
7	敗血症(新生児敗血症を含む)
8	急性灰白髄炎
9	麻疹
10	日本脳炎
11	ウイルス肝炎
12	梅毒
15-16	悪性新生物
17	良性及び性質不詳の新生物
18	栄養失調症
19	髄膜炎
20	脳性小児麻痺
21	心疾患
22,24	肺炎及び気管支炎
23	インフルエンザ
25	腹腔ヘルニア及び腸閉塞
28-32	先天異常
33-36	母側病態による新生児の障害
38-39,40	出産時外傷, 低酸素症, 分娩仮死及びその他の呼吸器病態
41	詳細不明の未熟児
42	同種免疫による新生児溶血性疾患
43	その他の周産期黄疸
44,45	新生児の出血及び新生児出血性疾患
E 51-E 53	不慮の事故及び有害作用
E 54	その他の外因

表 5.9 以降の死因順位は, 下記の死因より選んだ。(昭和42年以前については, 昭和53年人口動態統計上巻75ページ付表 3 を参照されたい。)

付表 2 昭和54年以降(乳児を除く)の死因順位の選び方

簡単分類番号	死 因	簡単分類番号	死 因	簡単分類番号	死 因
1	コレラ	22	梅毒	67	肺気腫
2	腸チフス	23,85	カンジダ症	68	喘 息
3	細菌性赤痢及びアメーバ症	24	日本住血吸虫症	69	胃及び十二指腸潰瘍
4,72	胃腸炎	25	フィラリア症	70	虫垂炎
5,6	結核	28-37	悪性新生物	71	腹腔ヘルニア及び腸閉塞
7	ら い	38	良性及び性質不詳の新生物	73	慢性肝疾患及び肝硬変
8	ジフテリア	39	糖尿病	74	肝疾患(肝硬変を除く)
9	百日咳	40	栄養欠乏症	76,77	腎炎, ネフローゼ症候群及びネ
10	猩紅熱	41	貧血	78	前立腺肥大症
11	髄膜炎菌感染	42	精神障害	79,80	妊産婦死亡
12,84	破傷風	43	髄膜炎	81	先天異常
13,86	敗血症	44	中枢神経系の非炎症性疾患	82	出産時外傷, 低酸素症, 分娩仮死
14	急性灰白髄炎	45	急性リウマチ熱	87	及びその他の呼吸器病態
15	痘 瘡	(46,51,52)	心疾患	88	その他の周産期の死因
16	麻疹	48,49	高血圧性疾患	E104-E114	精神病の記載のない老衰
17	日本脳炎	58-60	脳血管疾患	E115	不慮の事故及び有害作用
18,19	ウイルス肝炎	61	循環系のその他の疾患	E116	自 殺
20	発疹チフス及びその他のリケッチア症	62,63,66	肺炎及び気管支炎		他 殺
21	マラリア	64	インフルエンザ		

付表 3 昭和43年から昭和53年までの乳児の死因順位の選び方

S 分類番号	死 因	S 分類番号	死 因	S 分類番号	死 因
S 1	細菌性赤痢およびアメーバ症	S 12	梅毒およびその続発症	S 26	出生時損傷, 難産およびその他の
S 2, S 24	胃腸炎	S 14	悪性新生物(リンパおよび造血組	S 27	母体の妊娠時の疾患による新生
S 3	結核	S 15	織の新生物を含む)	S 28	児の障害
S 4	ジフテリア	S 16	良性および性質不詳の新生物	S 29	新生児溶血性疾患
S 5	百日咳	S 17	栄養失調症	S 30	詳細不明の未熟児
S 6	丹 毒	S 18	髄膜炎	S 31	新生児の出血性疾患
S 7	破傷風	S 19	脳性けいこ小児麻痺	S 32	新生児の黄疸
S 8	敗血症	S 20	心疾患	S 33	その他の新生児の異常
S 9	急性灰白髄炎	S 21, S 22	インフルエンザ	S 34	不慮の事故
S 10	麻疹	S 23	肺炎および気管支炎	S 35	その他の外因死
S 11	日本脳炎	S 25	腸閉塞およびヘルニア		

付表 4 昭和43年から昭和53年まで(乳児を除く)の死因順位の選び方

国際50項目死因分類番号	死 因	国際50項目死因分類番号	死 因	国際50項目死因分類番号	死 因
B 1	コレラ	B 18. d	日本脳炎	B 34	消化性潰瘍
B 2	腸チフス	B 18. e	伝染性肝炎	B 35	虫垂炎
B 3	細菌性赤痢およびアメーバ症	B 18. f	カンジダ症	B 36	腸閉塞およびヘルニア
B 4, B 46. e	胃腸炎	B 18. g	日本住血吸虫症	B 37	肝硬変
B 5, B 6	全結核	B 18. h	糸状虫症	B 38	腎炎およびネフローゼ
B 7	ベスト	B 19	悪性新生物(リンパおよび造血組	B 39	前立腺肥大症
B 8	ジフテリア	B 20	織の新生物を含む)	B 40, B 41	妊娠, 分娩および産褥の合併症
B 9	百日咳	B 21	良性および性質不詳の新生物	B 42	先天異常
B 10	レンサ球菌性咽頭炎および猩紅熱	B 22	糖尿病	B 43	出生時損傷, 難産およびその他
B 11	髄膜炎菌感染	B 23	ビタミン欠乏症およびその他の栄	B 44	養欠乏症
B 12	急性灰白髄炎	B 24	貧血	B 45. a	精神病の記載のない老衰
B 13	痘 瘡	B 25	髄膜炎	B 46. a	精神障害
B 14	麻疹	B 26, B 28, B 29	活動性リウマチ熱	B 46. b	中枢神経系の非炎症性疾患
B 15	チフスおよびその他のリケッチア症	B 27	心疾患	B 46. f	肝臓の疾患(肝硬変を除く)
B 16	マラリア	B 30	高血圧性疾患	B E 47, BE 48	不慮の事故
B 17	梅毒および続発症	B 31	脳血管疾患	B E 49	自 殺
B 18. a	類	(B 32, B 33. a)	肺炎および気管支炎	B E 50. a	他 殺
B 18. b	破傷風	B 33. b	肺気腫		
B 18. c	敗血症	B 33. c	喘 息		